

社会との関わりが薄く孤立しがちといった、技術や経験にもとづく問題もあります。

介護することは

恥かしくありません

更に問題のひとつとして、「仕事を辞めて介護だけしている自分自身を認められない」「介護している姿を他人に見られたくない」という心の持ちようが指摘されています。



アロマセラピーで介護者の生活に癒しを！
(10月1日「宮保健福祉センター」)

男性介護体験記

男性が介護することを考える

～男性介護者の会づくりにむけて～

介護を長年続けている男性介護者、まだ介護が始まったばかりのひと、介護状況の異なる男性介護者同士が繋がり、学び合い、言葉に出せる場所を！悩みを話せる場を！男性介護者ひとりで頑張りすぎないで！

- と き** 12月15日(火)
13:30～15:00
- と ころ** 穴栗防災センター
- 対 象** 男性介護者、介護に携わる方
- 講 師** 西山 良孝氏
(宝塚市NPO法人「スマイルウェイ」代表)
- 申込み** 穴栗市社協山崎支部
TEL 62-5530 FAX 62-1083

理由はともあれ、介護することは男性にとつて恥かしいことなのではないでしょうか。

1999年に高槻市長の江村利雄氏が「亭主の代わりはないけれど、市長の代わりはある」と言明、妻の介護を理由に辞任しました。あのとき江村氏の決断が、大きな驚きとともに好意を持って迎えられたことは今も多くの人たちの記憶に残っているのではないのでしょうか。

穴栗の男性介護者の会 発足にむけて

今年に入って男性介護者の全国組織が設立されるなど、男性と介護の問題がクローズアップされています。本年2月に開催した第2回穴栗地域福祉のつどいでは、奥さんを長年介護され、男性介護者の会づくりを切望されている中野剛志さん(山崎町)の発表が大きな反響を呼びました。



中野さんの報告は、感動的で涙を流して聴き入る方がたくさんありました
(2009年2月11日 穴栗市山崎文化会館)

男性介護者の会は、①当事者の励ましあいの組織として②介護技術を向上させる組織として③男性が介護しやすい社会をつくる組織として④男性介護者の相談機関としての役割を担っています。

介護する側もされる側も、家族介護者の男性も女性も、誰もが安心して暮らせる地域社会を築いていくという社会福祉協議会の目的からも、男性介護者の会づくりへの取組みは欠くことができません。